

白浜地区学校再編に関する保護者説明会 会議録

日 時 令和2年12月18日（金）

午後7時から午後8時まで

場 所 白浜中学校 体育館

出席委員 16名

欠席委員 2名

参加保護者 44名

1 開会

皆さんこんばんは。本日は、お忙しい中、御参加をいただきまして、誠にありがとうございます。会議の進行を務めさせていただきます南房総市教育委員会教育総務課学校再編整備室の小高と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、ただいまから、白浜地区学校再編に関する保護者説明会を開会いたします。

2 次第の2、委員長挨拶。白浜地区学校再編検討委員会の栗原委員長より、御挨拶をお願いいたします。

委員長 皆さんこんばんは。夕餉（ゆうげ）の後のおくつろぎの貴重な時間にお集まりいただきまして、ありがとうございます。

10月29日に白浜地区学校再編検討委員会第1回会議が開催され、委員長に選出された栗原でございます。

皆様方の総意に応えられるよう、微力ではありますが、務めさせていただきます。

11月18日に第2回検討委員会が開催され、白浜中学校と千倉中学校の再編について議論いたしましたが、統合するとの方向性も決まっていませんので、今日は皆さんよろしくお願いいたします。

私は、白浜地域づくり協議会「きらり」の「はぐくみ活動」の中で、防災・避難訓練、農業体験・磯遊び等の活動を通じて、白浜幼稚園・小学校・中学校の子どもと機会があるごとに接し、微力ではありますが活動しております。活動の中で、いつも付き添いの先生に、「生徒は、これだけ？」と聞いてしまいます。

中学校では、団体スポーツの部活ができなくなり、千倉中に入学している子どももいると聞いております。母校が気がかりなのか、当時の市議会総務委員会委員長の峯議員が、「学校再編について」の報告書を今年の3月議会に提出、白浜地区学校再編検討委員会の立ち上げとなりました。

学校というのは、「地域や町づくり」にとって非常に大事な拠点です。いずれにしても、人口が減っていく中で、統合は避けられないということは、皆さん思っていると思います。学校統合により、私の母校であります白浜中学校が無くなるのは、非常に寂しいです。学校統合に反対される人たちもいるかと思いますが。

白浜町には、区長会を始め、各種団体が多数あります。それらの団体の協力を得て、白浜町

の活性化は、大人の知恵で解決していただければと思っております。

委員になりました、白浜幼小中PTA正副会長さんは、非常に悩んでいるかと思います。例えば、「先に千倉中と嶺南中が統合したら、白浜中はどうなる」など、多くのことを想定してください。

「統合は、2、3年先になるだろうから、私の子どもは卒業してしまうので、どちらでもいいや」などと考えず、白浜町の子どもたちの将来の最善な教育環境をどう作っていったらいいのか、皆さんの英知を結集していただきたいと思います。

今日の説明会で出た意見を参考に、今後、検討委員会で協議・検討していきます。皆さんどうぞ、自由な意見を発言してください。なお、質問等につきましては、誠に申し訳ございませんが、回答者が窮することのないよう、要点を3点位にまとめ、発言をお願いいたします。

今日は、どうぞよろしくお願いいたします。

進行 ありがとうございました。

3 次第の3、教育長挨拶。南房総市教育委員会三幣教育長から御挨拶を申し上げます。

教育長 改めましてこんばんは。委員長の方からもありましたけれど、本来ですと、夕飯を食べてくつろいでいる時間にお集まりいただき、大変ありがとうございます。また、冷え込む中で大変申し訳なく思っています。学校の方も配慮しまして、暖房を用意しましたけれど、なかなか暖かいというところまではいかないかと思いますが、しばし、御容赦いただければと思います。

委員長からお話がありましたように、私ども、白浜地区学校再編検討委員会を立ち上げまして、白浜中学校と千倉中学校の統合による再編ということで提案いたしました。2回会議をもっていただいたわけですが、今日は、その会議の中で保護者の皆さんに集まっていただいて説明して、御意見、御質問等をいただくということになりましたので、今日の会議を設けました。

私の方からも、再編を進めていく上で、皆さん方の忌憚（きたん）の無い御意見、御質問をいただきながら、この再編をどう進めていくかということの参考にしたいと思います。

冷える中ですが、遠慮なく御意見、御質問をいただければと思います。どうかよろしくお願いいたします。

4 次第の4、委員紹介に移ります。

白浜地区学校再編検討委員会委員を御紹介させていただきます。

委員には、学識経験者の委員、行政連絡員代表の委員、保護者代表の委員、学校代表の委員がおられます。

<委員紹介>

<オブザーバー紹介>

<事務局紹介>

5 次第の5、説明に移ります。

(1) 白浜地区の中学校再編（案）について

(2) 白浜地区の中学校の現状について

を一括して事務局から説明いたします。

事務局 それでは、説明の前に配布資料の確認をさせていただきます。

まず、1枚目が本日の説明会次第、次に資料1として、「白浜地区の中学校再編（案）」が1枚、最後に資料2として、「南房総市立中学校生徒数推移見込み（白浜地区・千倉地区）」がA3折り畳みで1枚となっております。

配付資料は以上となりますので、御確認ください。

よろしいでしょうか。

次第の5、説明の(1)「白浜地区の中学校再編（案）について」説明します。

資料1の「白浜地区の中学校再編（案）」を御覧ください。

1番の「市の再編（案）」ですが、市では、白浜中学校と千倉中学校の統合を再編（案）として考えています。

まず始めに、白浜中学校と千倉中学校を統合するかしないかについて、現在、白浜地区学校再編検討委員会で協議・検討をしています。

次に、2番の「千倉中学校との統合の理由」ですが、アからオまでの5項目について、順不同に記載しています。

ア 生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばしていくためには、統合により、生徒数を確保することが望ましいと考えられるため。

イ 白浜中学校は、現在、各学年1クラスだが、統合することにより、2クラス又は3クラスの学級編制ができ、クラス同士が切磋琢磨する教育活動や、クラス替えが可能となるため。

ウ 学級数が少ないと、配置される教員も少なくなり、教育活動に制約が生じつつあるが、統合することによって教員の配置数を確保でき、より良い教育環境を提供できるようになるため。

エ 生徒数の減少により部活動の実施が厳しくなっているが、統合することによって充実した部活動が実施できるため。

オ 白浜中学校から学校間の距離が一番近い中学校が千倉中学校であり、白浜地区及び千倉地区の遠方から、30分程度でスクールバス通学が可能であるため。

以上の理由から、市では、白浜中学校と千倉中学校の統合を考えています。

最後に、3番の「学校の再編時期、学校の位置、学校の名称について」ですが、学校の再編時期、位置、名称に関する事項は、条例、規則等の改正を伴う重要事項であり、基本的合意事項となります。この基本的合意事項である3項目については、白浜地区学校再編検討委員会で白浜中学校と千倉中学校を統合する方向に決定しましたら、千倉地区学校再編検討委員会を設置し、白浜地区及び千倉地区学校再編検討委員会合同会議で協議・検討することを考えています。

続きまして、説明の(2)「白浜地区の中学校の現状について」説明します。

資料2の「南房総市立中学校生徒数推移見込み（白浜地区・千倉地区）」を御覧ください。

この表は、令和2年5月1日現在の学校基本調査及び住民基本台帳を基に作成したものと
なっています。

白浜中学校の生徒数計の欄を御覧ください。

今年度が58人です。令和3年度が67人、令和4年度が70人、令和5年度が65人
ですが、令和6年度から今よりも生徒数が減り、令和14年度には、41人になることが見込まれ
ます。

次に、白浜中学校のクラス数の欄を御覧ください。

白浜中学校は、現在、各学年1クラスですが、この状況は、今後も続くことが見込まれます。

次に、千倉中学校の生徒数計の欄を御覧ください。

今年度が194人です。令和3年度が190人、令和4年度が197人ですが、千倉中学校
も生徒数が減り、令和14年度には、97人になることが見込まれます。

次に、千倉中学校のクラス数の欄を御覧ください。

千倉中学校は、現在、各学年2クラスですが、この状況は、令和12年度まで続き、令和1
3年度には、1年、2年が1クラスで3年が2クラス、令和14年度には、各学年1クラスに
なることが見込まれます。

次に、合計の欄を御覧ください。

白浜中学校と千倉中学校が統合した場合の生徒数、クラス数となります。

年度によって変わってきますが、2クラス又は3クラスの学級編制が可能となります。

次に、表の下、令和2年度教員の配置数を御覧ください。

白浜中学校の教員の配置数ですが、現在の白浜中学校の正規の教員は、8人です。その他に
会計年度任用職員として、技術・体育・家庭科・美術の教科担任講師が1人ずつ、合計4人い
ます。

次に、千倉中学校の教員の配置数ですが、現在の千倉中学校の正規の教員は、13人です。
その他に臨時的任用講師として、数学のチームティーチングの講師が1人、県から派遣されて
います。

以上で説明を終わります。よろしくお願いいたします。

6 説明が終わりました。

これから、次第の6、質疑・意見交換に移ります。

御質問、御意見、分からないこと等ございましたら、お手を挙げていただきますよう、お願
いいたします。

なお、職員がマイクをお持ちしますので、自席にてお待ちいただきたいと思います。

委員 10月29日から再編検討委員会の話が始まりまして、PTAの役員として会議の方に出
席しているのですが、実際のところ、保護者の皆さんがどのようにお考えなのか、我々として
も分からないというのが正直なところでして、アンケートをとるのがいいのかとか、いろいろ
悩んだりしたのですが、先月の会議で保護者の皆さんに向けての説明会をやろうじゃないかと
いうことで、このような場を設けていただきました。

今、説明の中にありましたけれど、新しい校舎の場所をどこにするのかとか、例えば、そこ

に行くまでの通学の方法ですとか、それぞれ不安な点や、疑問などがあると思いますので、是非、忌憚なくお話しいただければと思っています。よろしくお願いします。

保護者 いつ頃統合する予定なのでしょう。

教育長 私どもは、何年度に統合校をスタートするという、はっきりした考えは持っていません。

今日を含めてですけれど、皆さん方から御意見をいただいて、まず、白浜地区で白浜中学校と千倉中学校の統合という方向で進もうということが決まりまして、それから、千倉地区で会議を開いて、千倉地区でも千倉中学校と白浜中学校を統合しようという結論になりましてから、先ほどお話ししたように、両地区合同の再編検討委員会の会議を始めますので、私どもは、何年かかるかということは想定しておりませんし、大変申し訳ないのですが、年数については申し上げられない状況です。

ただ、皆さん方の意向として、1年でも早くしてほしいとか、そのようなことがあれば、私どもは、その方向で考えていかなくてはいけないと思っています。

保護者 ありがとうございます。

統合に対して、私は、特に反対ではありません。

保護者 統合に関して反対する気持ちはないですけれど、千倉地区でこのような会議があったとき、「白浜中学校の校舎は新しいので、白浜中学校を使います」という話が出て、猛反発を受けて、「じゃあ、千倉中学校を使います」という話になったというのを千倉の人から聞いたんですが、それだと、白浜の人たちは、話が違うんじゃないかなと思うんですよね。場所がまだ決まっていないという状況は、間違いないでしょうか。

教育長 私どもから、そういうような話をしたようなことはありません。先ほど申し上げましたけれど、両地区の合同の再編検討委員会の会議の中で、私どもはやはり、子どもたちの通学の距離とか、校舎の大きさとか、そういったものを含めて提案することは考えています。現在のところ、私どもは白紙の状態です。

保護者 もし、統合した時にスクールバスは出るのでしょうか。私は、千倉中に行っていたのですが、土曜日、日曜日に部活があった際に、私は自転車で千倉中まで行っていました。例えば、部活をしている子たちのために、スクールバスが土日に出るのかどうかというのを聞いておきたいと思います。

教育長 私ども、これまで統合を進めてまいりまして、中学校につきましては、4 kmを超える場合は、スクールバスに乗ることができます。ただ、本人あるいは家庭の方から「自転車で通います」ということであれば、それは結構ですけれど、4 km以上の子どもたちには、スクールバスを用意してきております。

嶺南中学校の例で申しあげますと、土曜日、日曜日に部活のためのバスは、確か、2便運行していたと思います。できるだけ午前中にそろえてやるだとか、午前中に部活を終えるだとか、そのような形でやっております。白浜中学校と千倉中学校が統合しても、同じような形でやっていきたいと思っています。

保護者 子どもが少ないことは、メリット・デメリットがあると思いますが、少ないことで工夫して、たくさんのこともできていたと思います。ただ、やはり、大きい学校に行けば、学年の中でまずライバルがいます。部活動においても、白浜中では所属するだけでレギュラーですが、

ほかの学校では、部活の中でレギュラー争いをすることによって、個々が成長していくと思っています。そういった、子どもたちが成長できる場面を考えたら、やはり、統合していくのが一番だと思います。

ただ、私も白浜中学校を卒業したので、形的に吸収合併というふうになるのはちょっと残念だなと思いますので、統合の方法については、皆さんでよくよく御検討いただきたいと思います。

あと、今日の会議は、何の決着を目的としているのでしょうか。「統合します」ということまで決めるのか、「統合するしないは、まだ持ち越します」とするのか、今日、せっかくこれだけの人数を集めたので、せめて、方向性だけでも決めたいなと思っていますが、いかがでしょうか。

教育長 後の御意見からお答えしますと、この会議は結論を出す会ではありません。先ほどPTA会長さんがおっしゃいましたが、再編検討委員会で委員の方々が、これから話し合っ、結論を出していくわけですが、その際に、保護者の皆さんがどういう考えを持っているかということを知りたいということで開催しました。

私ども、これまで十何年間で多くの学校の再編を進めてまいりましたが、アンケートは取っておりません。アンケートを取らない代わりに、このような説明会を開きまして、皆さん方の納得がいくような形で意見をいただき、質問に答えるような形で進めております。従いまして、今日の会の趣旨とすると、そのようなものでありますので、冒頭に私も委員長も会長も申し上げましたが、忌憚のないところで皆さんの御意見を頂戴できれば、それをもとに再編検討委員会で話し合っ、まいりますので、この件については、御理解いただければと思います。

もう1点、統合についての御意見をありがとうございます。私どもは、白浜中学校と千倉中学校を含めてすべての今までの統合についても、吸収合併とかそのような考えはまったく持っておりません。数の違いはありますが、複数の学校が対等な立場で統合していくという考え方でやっておりますので、それについても御理解いただければと思います。

保護者 資料に学校の位置ということがうたわれているのですが、仮に白浜中学校を使う、又は、千倉中学校を使う、若しくは、新しく建てるということも考えているのですか。

教育長 新しく学校を建てるということをまったく考えていない訳ではないですけど、本市の財政的な状況ですとか、使えるものは使っていくということが多くの市民の方の御理解を得られることになると思いますので、その辺を含めて、校舎の建築については、考えてまいりたいと思います。

校舎の位置につきまして、どこに置くかということですが、私どもが今まで進めてまいりましたのは、スクールバスで遠くても30分程度という範囲を考えています。従いまして、白浜中学校の子ども、千倉中学校の子どもで、新しい校舎に一番遠い子がバスでどのくらいかかるのかということが大きな目安となりますので、それらを含めて両地区の再編検討委員会を立ち上げましたら、その際にいろいろな条件の中で、これでどうだろうということで提案させていただきたいと考えております。

保護者 ありがとうございます。嶺南小ができて、和田小などは解体となっているようすけれ

ど、新しく学校を建設しないとすると、千倉中学校の老朽化を考えた場合、白浜中学校と比較してどちらを残すお考えですか。

教育長 これも仮定の問題ですので、両地区合同の再編検討委員会で提案をさせていただきますが、千倉中学校につきましては、私どもの長期の計画の中で、令和3年度、4年度で大規模改修を行う予定になっております。

和田地区、丸山地区の統合校舎につきましては、いわゆる東日本大震災があり、海拔の問題がありまして、和田中学校、あるいは、南三原小学校は、海拔が10m以下でございまして、再編検討委員会での議論の中で、「ここでは、子どもたちを安心して通わすことができない」というような事情もありまして、今の嶺南学園のところに中学校は移りました。小学校の方は、老朽化もありましたので、そこに新しい校舎を建てた次第であります。

海拔の問題も含めて、新しい校舎をどこにするかということは、先ほど申し上げましたように、改めて私どもの方からいろいろな条件をそろえて提案する予定でおります。

保護者 白浜中学校は、数年前に大改修を行ってここまでの学校になっていますから、千倉中学校に統合するにせよ、残った建物をそのあとでどのように使っていくのか。その辺も教えてください。

教育長 老朽化がひどくてほかの転用ができないだとか、そういう場合については、やむを得なく解体しているところはあります。ただ、この白浜中学校の校舎や体育館は、新しく、建てて10年ちょっとくらいですので、これを解体するということは、まったく考えておりません。

保護者 建物は残すにしても、その後、どのように利用していくのか。噂では、介護施設に元かなるような話も昔聞いたことがあります。だから、全部スロープになっているんだという話も過去に聞いたことがあります。先々を見越して造られているんじゃないかという噂を聞いたことがあるんで、あとの利用をちゃんとしたほうがいいんじゃないかと思います。

教育長 今、介護施設という話がありましたけれど、私は、そのようなことを引き継いでおりませんし、今もまったく考えておりません。活用については、仮定の話ですが、この校舎を使わないとすれば、ここの活用は、私どもの責任でしっかり考えていかなければならないと思っています。

保護者 千倉中学校の改修工事は決定なのでしょうか。

教育長 これは、統合の話とはまったく別に、千倉中学校も建ててからかなりの年数が経ってまして、これは、当初の予定どおりの改修計画です。

保護者 けれど、統合して場所が変わることを考えたら、やって無駄になることもありますよね。

教育長 例えば、和田中学校のグラウンドについても、統合の話がありましたけれど、そのあとの利活用を考え、それを含めて改修いたしました。千倉中学校の校舎についても、解体することは考えにくいので、当初の計画どおり、有利な財源を使えることもありますので、改修を考えております。

保護者 このような保護者の説明会を開いてから、だいたい、どのくらいの準備期間を経て、実際に一緒になるのでしょうか。

教育長 先ほどお答えしたのですが、私どもは何年という見通しは、はっきりとは持っておりません。と言いますのは、今、皆さんから、いろいろ御意見をいただいておりますけれど、これらを

踏まえて、今日、お見えになっている検討委員の皆さん方が、次の会議でどういうお考えを出されるのか、白浜中学校と千倉中学校の統合の方向で行こうということが、このあと何回の会議で決まるのか、私どもの方は分かりません。

もし、決まったとしても、今度は、千倉地区の再編検討委員会を立ち上げまして、同じような手順を踏んでいきます。千倉地区の方も白浜地区と統合していこうという結論が出てから、初めて両地区の委員が合同で会議を開きまして、学校の位置とか、校名とか、そういうものを協議していただくことになりますので、私どもとすると、かなり時間はかかるものかなというように思いは持っています。大変申し訳ないのですが、早くても2年や3年はかかるのかなと思います。

ですが、これは、あくまでも私どもの考えでありまして、再編検討委員会、あるいは、地区の皆さん方のお気持ち、考え次第で、非常に時間がかかることも想定はしています。

保護者 今回、こういう説明会をして、次に何か進展があったときに、また説明会を開く形になるのか、それとも、統合と決まったらどんどんそのまま先に進んでいくのでしょうか。

教育長 私どもの教育委員会のペースで進んでいくということは考えにくいのかなとは思っています。あくまでも、再編検討委員会の皆さんに協議の方法、進め方、スピード、そういったものについてはお任せしていますので、再編検討委員会の皆さんが早くに結論を出せば、そのようになると思いますし、もう1回、皆さん方の御意見をいただきたいということになりましたら、もう1回このような会議を開くと思いますし、いずれにしましても、再編検討委員会の皆さん方の判断で、私どもは進めてまいりたいと思っています。

保護者 場所的な問題などで、皆さんが納得するかしないかというのが出てくるのではないかと思います。ですので、「統合が決まりました。場所が決まりました。ここです。」となった場合に、皆さんが納得できるのかなというのが分からないと思ったので、どのタイミングで決まっていくのが心配です。

教育長 嶺南学園の例で言いますと、和田地区と丸山地区の統合ですので、学校の場所をどこにするのかということについては、非常に多くの会議を開きました。いろいろな思いがそれぞれの地区であります。

最終的には、子どもたちの教育環境として、どこが1番いいのか、その1点だけに絞りました。年数で言いますと2年近くかかったような気がしますけれど、かなりの会議を開きました。両方で四十数回会議を開いたと思います。

私どもとすると、学校というものに対しては、地区の皆さんそれぞれいろいろな思いがありますので、その思いを充分受けながら決めていかなければいけないと思っていますので、この白浜地区と千倉地区の統合についても、充分地区の皆さん方のお気持ちをいただきながら決まるところに決めていただくような、そのような思いで進めてまいりたいと思います。

保護者 先ほど、嶺南中学校の海拔の話をしていましたけれど、白浜中学校と千倉中学校の海拔のことを考えれば、白浜中学校はNGですよ。ということは、いくら学校が新しくても、千倉中学校の大規模改修にお金をかけてやって、人数の少ない方が千倉中学校に行くという、そういう想定になってしまいますよね。吸収合併というイメージが、どうしてもぬぐい切れな

教育長 海拔の問題で白浜中学校がだめだということは、子どもは、今の段階では考えておりません。それと、海拔も含めて、いろいろな観点から学校の位置については提案したいと思っています。

繰り返しになりますけれど、どういう形であっても、吸収合併とかそういったようなことは子どもは、考えておりません。学校が2つであろうと、4つであろうと、同じような立場で統合するという考えには変わりはありませんので、この辺については、また、いろいろな機会でご理解を得ていきたいと思っています。

保護者 今現在、千倉の方では、検討委員会は立ち上がっていないのでしょうか。

教育長 はい。立ち上がっていません。

千倉地区の区長会には、白浜地区と千倉地区の中学校の統合ということで、白浜地区でこういう会を立ち上げますということは報告しております。検討委員会の委員も決まっておりますし、会議も従って1度も開いておりませんし、当面会議の予定もありません。

保護者 ということは、白浜地区で意見がまとまってから、千倉地区にお願いする形で立ち上げる形になるのですか。

教育長 お願いするような形ではないと思います。

先ほど、資料でも申し上げましたけれど、千倉中学校もやがて各学年1クラスという状況になります。千倉中学校についても、このままの状況ではいけないというのが子どもの認識です。白浜中学校だけの問題ではなくて、千倉中学校の将来の問題でもあるということで、再編検討委員会を千倉地区で立ち上げていく考えです。

保護者 今日、来たいけど用事があって来られなかった人に、「どういう話になったのか聞かせてほしい」ということを言われました。今回の話の内容は、共通の認識として、子どもを通じて保護者に配付をお願いしたいです。

教育長 まず1点は、ホームページにこの会議録は載せる考えです。あと、子どもを通じて保護者にとのことですけれど、これにつきましては、PTAの役員の方々と相談しまして、あとは、委員長さんの判断で、その方法が良しとすれば、そのような形にしたいと思います。

保護者 今回、ここに参加するにあたって、再編の時期だとか、場所だとか、そういう具体的なことが聞けるとして参加をしたので、正直、質問と言われても、実際に自分の子どもが行くって思ったときに、いろいろ聞きたいことがありましたので、今回質問することは特にないんですが、この雰囲気を感じていると、概ね皆さん統合の方向に賛成の方が多いのかなと感じました。

このまま再編検討委員の方で統合という形になっていくとしたら、次に知られるときは、すべて決まったときではなく、大方、詳しいことが決まってきたら、早めの段階で保護者に説明会を開いていただけると、とてもありがたいなと思いますのでお願いします。

教育長 子どもが判断するのではなくて、委員の皆さんがお見えですので、今の御意見を踏まえて、この後どうするかってことは結論をお出しいただけたと思います。

委員 いろいろな御意見を聞かせていただきまして、ありがとうございました。

雰囲気としては、統合に賛成の方が多いのかなと思います。言葉にできないような思いもあるかとは思いますが、今回このようにそれぞれの話を聞かせていただきまして、それを踏まえ

た上で次回の再編検討委員会に臨んでいきたいと思います。

また、こういった保護者説明会をしてほしいというような話もありましたので、それも引き続き行っていきたいなと思っています。

保護者 今日会の趣旨としては、我々の意見をいっぱい聞きたいというような内容だと私は感じております。そんな中で、一つも意見を言わないのは失礼だと思ひまして、ひとこと言わせていただきますと、私が感じるに、子どもの学校生活を見ていると、部活動から始まって、運動会、授業の内容、生活を見ていると、どうしても、寂しく思ってしまう。

資料にもあるのですが、この先、子どもの人数を考えると、もう、これは限界にきているといったところで、今回の統合の話なのですけど、是非、前向き進めていただければなと思います。

ただ、乱暴に進めるわけではなくて、ゆっくり時間を使っていただいて、いろいろ皆さんの意見を聞いていただいて、丁寧にやっていただければ私はいいのかなと思っています。

この町から学校が無くなるということは、ちょっと寂しいことなんですけれど、やはり、子どものことを考えたら、統合の方向で進めていただくのがいいのかなと思っています。

よろしくお願いいたします。

進行 他にございますでしょうか。

特に無いようでございますので、閉会をさせていただきたいと思います。

本日、皆さんからいただいた御意見を参考に、今後、再編検討委員会で協議・検討を進めて参りたいと思います。

それでは、以上をもちまして、白浜地区学校再編に関する保護者説明会を閉会いたします。

御協力いただき、ありがとうございました。

<閉会>